

空気が きれい な 千葉市



2021年1/7 晴強風(12~19m/S)時の製鉄工場の上空

製鉄工場の原材料ヤード

製鉄工場のスラグヤード

粉じん問題はまだ解決していません

本年4月29日付け読売新聞には、2019年度観測の製鉄所由来の降下ばいじん(粉じん)は前年度と比べほぼ半減したとの記事がありました。しかし、市の測定ではその後も高い値が観測されていることは無視できない事実です。日常的な粉じん被害は変わらず、工場周辺の住民は、今でも粉じんに苦しんでいるのです。

粉じんの「環境目標値」は、1ヶ月間で1km²あたり20tを越えないこと(たとえば、100平方メートルのマンションで1ヶ月間放置した後掃除をしたら2kgのざらざらしたゴミが集まったとしても許される、というとんでもなく

甘い数字なのです)となっており、驚くべき事にこの値は、大気汚染が深刻だった昭和49年(1974年)に制定されて以来一度も見直されておられません。

特に被害が深刻な地域は、多くの子どもたちが毎日通う寒川小学校、問屋町周辺です。

現在千葉市では2021年度末をめどに環境目標値の見直しを進めています。市民の健康を第一に考えた一層の指導強化を求めます。また、事業者には大企業だからこそ企業倫理を守って社会的責任を果たしてほしいものです。



今井マンションベランダ手すり7mを清掃
2021年5月25日~5月26日までの24時間



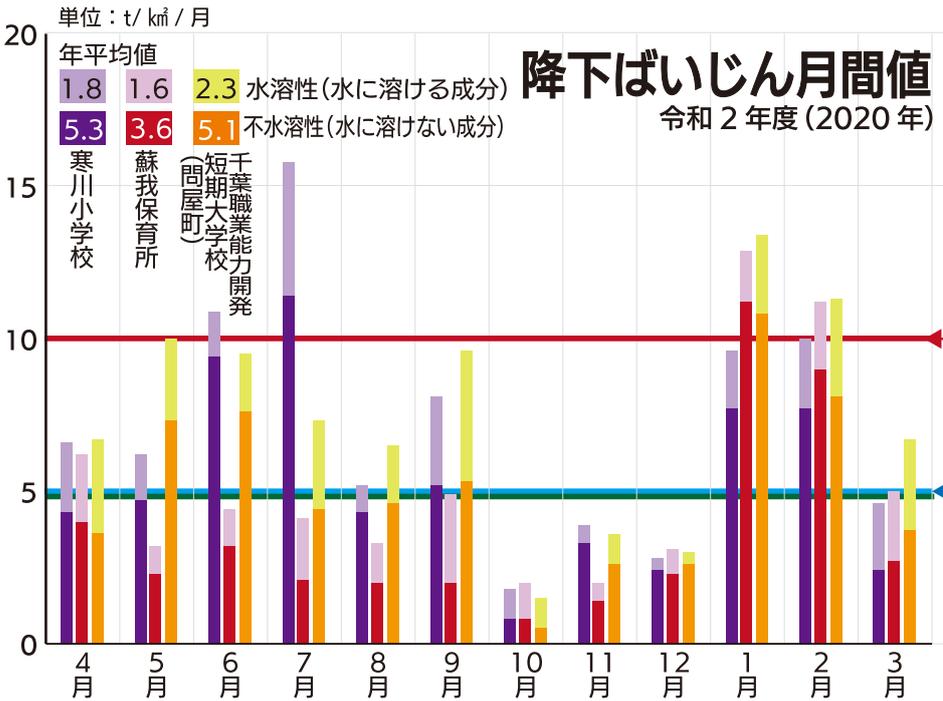
問屋町車両のボンネットの汚れ
2021年5月22日



2021年5月22日 問屋町 窓の汚れ

千葉市に求める環境目標値とその理由

市内に製鉄所のある姫路市を参考に、千葉市の新たな環境目標値を以下のとおり提案します。



新しい目標値は現在の半分になりますが、事業者が誠意を持って対応すれば実現可能な数字です。さらに、10年後の次期環境基本計画改定までこのままではなく、3年ごとの見直しが必要と考えます。

現在の千葉市環境目標値

総量
 月間値の年平均値 10t/ km² / 月以下
 かつ
 月間値 20t/ km² / 月以下

当会が提案する新たな環境目標値

総量
 月間値の年平均値 5t/ km² / 月以下
 かつ
 月間値 10t/ km² / 月以下

不水溶性
 月間値の年平均値 3t/ km² / 月以下
 かつ
 月間値 6t/ km² / 月以下

姫路市

総量
 年平均値 5.0t/ km² / 月当たり降下量

不溶解性(不水溶性)物質
 月間値 3.0t/ km² / 月

住民の声

先日はアンケート結果をお持ちいただきありがとうございました。資料を拝見し、千葉市の降下ばいじん量が他都市と比較しても圧倒的に多いことを知り驚きました。過去に北海道 / 東京などに住みましたが、千葉の汚れは種類が違うのも納得できました。

今週も拭き掃除をしましたが、クイックルワイパーが黒くなり、状況は改善されていない事を実感します。(今井 Kさん)

私は千葉寺町に住んでいます。今は成人した息子たちですが、息子たちの子どものころ川鉄公害がひどく「あおぞら裁判」が起こりました。その頃の寒川小学校は硫黄酸化物、窒素酸化物、降下ばいじんも高濃度で、プールの水面にグラファイトが浮遊して生徒の目に傷害が起こらないようにプールに屋根ができました。

今、孫が、千葉市でもっとも降下ばいじん濃度が高い同小学校に通っています。日進月歩の科学の時代に3世代にわたって何もしてこない企業には誠意が見られません。市役所はしっかりしてください。(千葉寺町 Iさん)

会の名称を変更し 引き続き取り組んでいきます

当会では2017年4月以来、蘇我地区に予定されていた石炭火力発電所建設計画の中止を訴えてきました。活動の中で、臨海部工場からの粉じん被害が深刻で、何とかして欲しいとの多くの声が寄せられ、粉じん問題にも取り組んできました。

2018年12月、石炭火力発電所計画を中止するとの発表があり、天然ガスを燃料とする火力発電所について検討していくとのことでした。2021年3月、採算が見込めないため火力発電所計画を中止するとの発表がありました。しかし、千葉市中央臨海部地区の粉じん問題は未だ解決しておらず、会の名称を下記の通り改め、引き続き活動をおこなうことといたしました。

(2021.5.13 総会にて)

新名称：千葉中央臨海部大気環境を考える会

(旧名称：蘇我石炭火力発電所計画を考える会)

なお略称は「蘇我の会」といたします。引き続きご支援よろしくお願い致します。

代表 小西由希子 2021.7発行
 連絡先 〒260-0841 千葉市中央区白旗 2-17-6
 千葉中央臨海部大気環境を考える会
 TEL 090-7941-7655